

# 取扱説明書

KOBAYASHI

## ラベルプリンタ ipシリーズ

このたびは、当社バーコードプリンタipシリーズをお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

本書をよくお読みいただき、ipシリーズの機能を理解し、正しくお使いください。



**ip-65**  
感熱方式  
203dpi

### ip-205/ip-225

熱転写方式  
203dpi/305dpi



※純正品(ラベル・リボン)を必ずご使用ください。



\*Q02248000\*

小林クリエイティブ株式会社

# 安全上のご注意

本章では、プリンタのご使用時における安全について記載しております。プリンタをご使用になる前に必ずよくお読みください。

## 絵表示について

この取扱説明書やプリンタの表示では、プリンタを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への被害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっていきます。内容をよく理解して、本文をお読みください。

	<b>警告</b> この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b> この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例

-  △記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
-  ●記号は「してはいけないこと」を意味しています。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
-  ●記号は「しなければならないこと」を意味しています。図の中に具体的な内容指示(左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください。)が描かれています。

 <b>警告</b>		
<p><b>不安定な場所に置かない</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>くらついた台の上や傾いた所、振動のある場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因になります。</li> </ul> <p><b>水などの入った容器を置かない</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタの周辺に花びん、コップなど水や薬品の入った容器や小さな金属物を置かないでください。万一、こぼれたり、中に入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店又は販売ディーラーにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</li> </ul> <p><b>内部に異物を入れない</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタの開口部(ケーブルの出口など)から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店又は販売ディーラーにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。</li> </ul> <p><b>指定以外の電圧は使用しない</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>指定された電源電圧(AC100V)以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。</li> </ul>	<p><b>必ずアース線を接続して</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>必ずプリンタのアース線をアースへ接続してください。アース線を接続しないと感電の原因になります。</li> </ul> <p><b>電源コードの取り扱いについて</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードを傷つけないでください。破損、加工したりしないでください。又、重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。</li> </ul> <p><b>電源コードは傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店又は販売ディーラーにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。</b></p>  <p><b>電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。</b></p> <p><b>落としたり、破損したときは</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタを落としたり、破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店又は販売ディーラーにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。</li> </ul>	<p><b>異常な状態で使用しない</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>万一、プリンタから煙がでている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店又は販売ディーラーに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対にやめください。</li> </ul> <p><b>分解しないでください</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店又は販売ディーラーにご依頼ください。</li> </ul> <p><b>カッタについて</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>カッタに手や物を入れないでください。ケガをする恐れがあります。</li> </ul> <p><b>ヘッド清掃液の取り扱いについて</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>ヘッド清掃液は、火気厳禁です。加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対に行わないでください。お子様が間違えて飲み込まないように手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。</li> </ul>

初版 2007年12月10日 Q02248000

©2007 小林クリエイト株式会社

## 安全上のご注意

⚠ 注意		
<p><b>湿度が高い場所に置かない</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタを湿度の高い場所、結露する場所に置かないでください。結露した場合は、速やかに電源スイッチを切り、乾くまで使用しないでください。結露したまま使用すると、感電の原因となります。</li> </ul> <p><b>持ち運び</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>移動されるときは、必ず電源コードから抜き、外部との接続線を外したことを確認の上、行ってください。外さないまま移動すると、コード、接続線が傷つき火災・感電の原因になります。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>用紙をセットしたまま、プリンタを持ち運ばないでください。用紙が落ち、ケガをする恐れがあります。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタを床や台の上などに置く場合、プリンタの足に指や手を挟まないように注意してください。</li> </ul> <p><b>電源</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。</li> </ul>	<p><b>電源コード</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードに熱器具を近づけないでください。熱器具を近づけた場合電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを持って抜いた場合芯線の露出や断線し、火災・感電の原因になることがあります。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>本プリンタに付属の電源コードセットは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。</li> </ul> <p><b>カバー</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>カバーの開閉には、指を挟まないように注意して行ってください。又、カバーが滑り落ちないようにしっかりと持って行ってください。</li> </ul> <p><b>サーマルヘッド</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。印字直後の用紙の交換、清掃は、火傷をしないように注意して行ってください。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをする恐れがあります。用紙の交換、清掃はサーマルヘッドに触らないように注意して行ってください。</li> <li>お客様によるサーマルヘッドの交換は、行わないでください。ケガ、火傷及び感電の恐れがあります。</li> </ul>	<p><b>サーマルヘッドの開閉</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>サーマルヘッドの開閉には、用紙以外の異物を挟まないように注意して行ってください。ケガ、破損の原因になることがあります。</li> </ul> <p><b>用紙のセット</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>ロール紙をセットするとき、用紙と供給部の間に指を挟まないように注意して行ってください。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>ファンフォールド紙通し口のウィンドウを開けると、ケガをしないように注意して行ってください。</li> </ul> <p><b>長期間ご使用にならないとき</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタを長期間ご使用にならないときは、安全のため電源コードの抜き差しプラグをコンセントから抜いてください。</li> </ul> <p><b>お手入れ・清掃のとき</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタのお手入れや清掃を行うときは、安全のため電源コードの抜き差しプラグをコンセントから抜いてください。</li> </ul>

## ご 注 意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店・ディーラーへご連絡ください。
- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## 付属品の確認

箱の中には本体のほか以下のもが同梱されています。全てが揃っているかどうか、必ず確認してください。万が一がないものがあればご購入された販売店または販売ディーラーまでご連絡ください。



●プリンタクリーニングセット



●保証書  
●説明書 ●セットアップガイド



●ラッピングシート  
(ヘッドクリーニングシート)



●電源コード/ACアダプタ  
●2極アダプタ



●CD-ROM



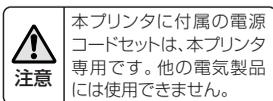
●テスト用ラベルとリボン



●ポリウレーム調整用ドライバ  
※プリンタ本体に添付されています。



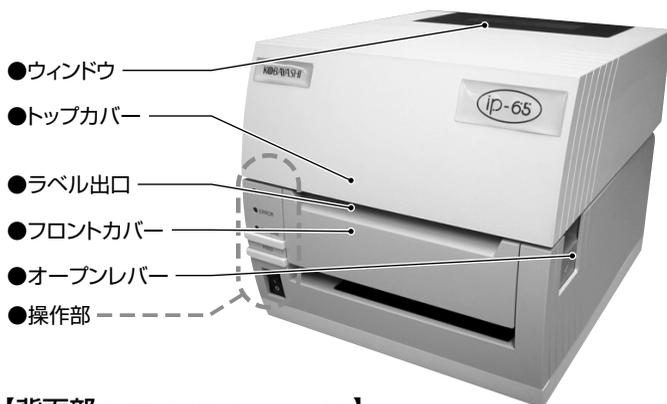
●リボンアダプタ  
※テスト用リボンおよびリボンアダプタは熱転写仕様のみ添付となります。



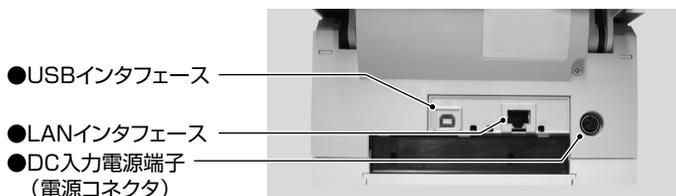
●USBケーブル

## 各部の名称

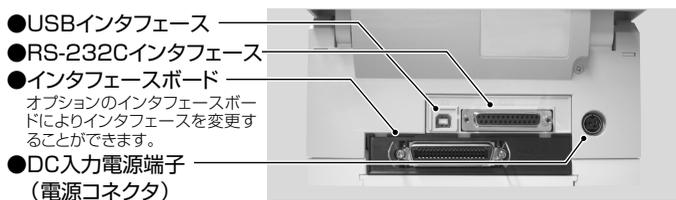
### プリンタ本体【本体外観】



### 【背面部 (USB+LAN インタフェース)】



### 【背面部 (USB+RS-232C インタフェース)】



## 各部の名称

### トップカバーオープン時

#### 【ip-65の場合】

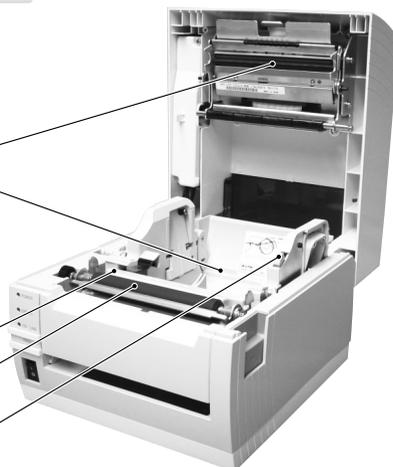
●サーマルヘッド

●用紙ホルダ

●用紙センサ

●プラテンローラ

●用紙ホルダ  
スライドレバー



#### 【ip-205/ip-225の場合】

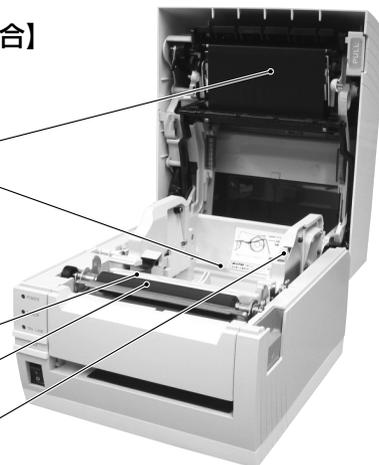
●リボンユニット

●用紙ホルダ

●用紙センサ

●プラテンローラ

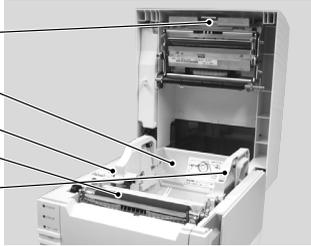
●用紙ホルダ  
スライドレバー



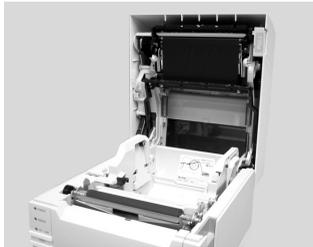
## トップカバーオープン時【カッタタイプ】

### 【ip-65の場合】

- カッタ上刃
- 用紙ホルダ
- 用紙センサ
- プラテンローラ
- 用紙ホルダ  
スライドレバー

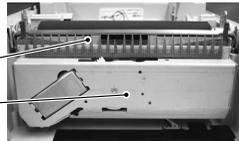


### 【ip-205/ip-225の場合】



(フロントカバーオープン時)

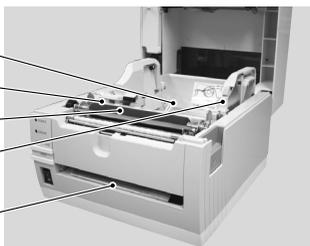
- カッタ下刃
- カッタユニット



## 各部の名称

### トップカバーオープン時【ハクリタイプ】

- 用紙ホルダ
- 用紙センサ
- プラテンローラ
- 用紙ホルダ  
スライドレバー
- 台紙排出口



(フロントカバーオープン時)

- ハクリユニット



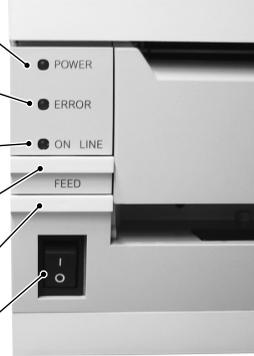
### 【バッテリー】

- バッテリー
- バッテリー電圧安定器
- バッテリーチャージャ



【操作部】

- 「POWER」ランプ  
電源スイッチを入ると点灯(緑色)します。
- 「ERROR」ランプ  
エラーが発生したときに、点灯したりまたは点滅(赤色)します。
- 「ON LINE」ランプ  
点灯(緑色)しているときは受信可能状態です。
- 「ON LINE」キー  
発行停止/再開とデータ受信を中止するときに押します。
- 「FEED」キー  
オフライン状態のときに押すと、用紙を送ることができます。
- 電源スイッチ



【フロントカバーオープン時】

- ハクリコネクタ
- カッタコネクタ
- エラー表示ランプ
- 調整用ボリューム
- ディップスイッチ (DSW1)

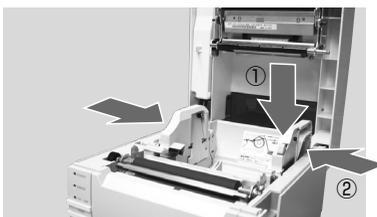


## ロール紙のセット [連続・カッタ・ノンセパ]

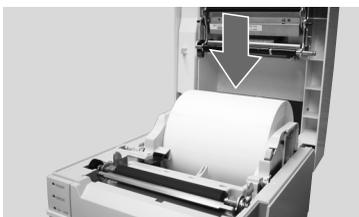
- 1** ①本体右側のオープンレバーを下に押し、ロックを解除し、  
②トップカバーを開けます。



- 2** ①用紙ホルダスライドレバーを押しながら、②用紙サイズに合わせて用紙ホルダを調節します。



- 3** 用紙を用紙ホルダにセットします。



- 4** 用紙を引き出した後、用紙センサの間に用紙を通します。

用紙センサ



## 5 トップカバーを閉じます。

このとき、上面の矢印の部分を押して「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。



## 6 ①「FEED」キーを押して、用紙の頭出しを行います。

②最後に「ON LINE」キーを押して、オンライン状態にしてください。



**注意**

印字終了後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。

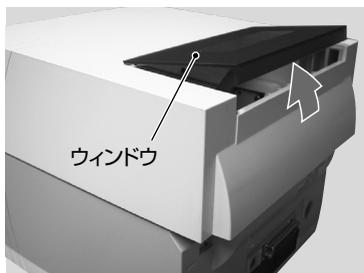
サーマルヘッドの端に素手で触るとケガをする恐れがあります。

用紙交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

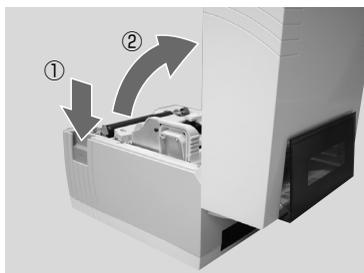
トップカバーを閉めるときは、指を挟まないように注意して行ってください。

## ファンフォールド紙のセット [連続・カッタ]

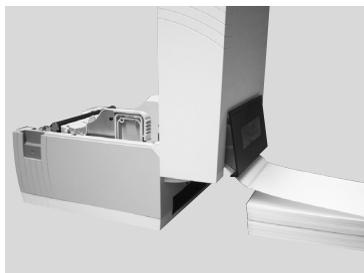
- 1 ウィンドウを後ろ側から開けます。



- 2 ①本体右側のオープンレバーを下に押し、②トップカバーを開けます。

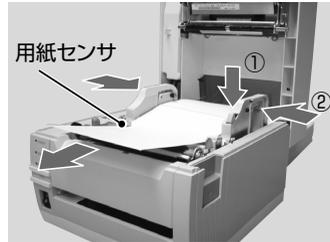


- 3 開けたウィンドウから用紙を通します。



- 4** ①用紙ホルダスライドレバーを押しながら、②用紙サイズに合わせて用紙ホルダを調節します。

用紙を引き出した後、用紙センサーの間に用紙を通します。



- 5** トップカバーを閉じます。

このとき、上面の矢印の部分を押して「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。



- 6** ①「FEED」キーを押して、用紙の頭出しを行います。

②最後に「ON LINE」キーを押して、オンライン状態にしてください。



注意

印字終了後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。

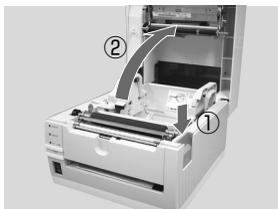
サーマルヘッドの端に素手で触るとケガをする恐れがあります。

用紙交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

トップカバーを閉めるときは、指を挟まないように注意して行ってください。

## ロール紙のセット [ハクリ]

- 1** ①本体右側のオープンレバーを下に押し、ロックを解除し、②トップカバーを開けます。

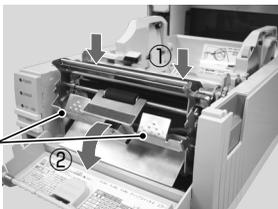


- 2** フロントカバーを前に開けます。

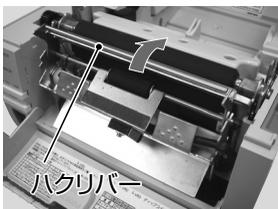


- 3** ①ハクリユニットの[PUSHDOWN]マークを下に押しながら前に倒し、②ハクリユニットを開けます。

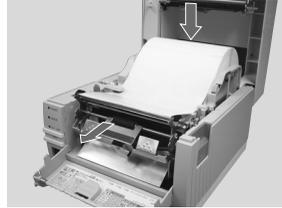
[PUSHDOWN]マーク



- 4** ハクリユニットを開けると、自動的にハクリバーが矢印の方向に開きます。



- 5** ラベルをはがし、約15cm程台紙だけの状態にして、用紙を用紙ホルダにセットします。用紙を引き出した後、用紙センサの間に用紙を通します。



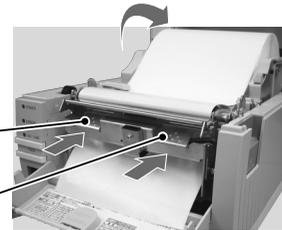
- 6** ハクリユニットとプラテンローラの間台紙を通します。ハクリプレートより下にできるように台紙をセットします。

プラテンローラ  
ハクリユニット  
ハクリプレート



- 7** ハクリユニットの[PUSHDOWN]マークを矢印の方向に押しつけて閉じます。台紙がたるんでいる場合は、ラベルを回して巻取り、たるまないようにします。

[PUSHDOWN]マーク



- 8** フロントカバーを閉じます。



## ロール紙のセット [ハクリ]

- 9** トップカバーを閉じます。  
このとき、上面の矢印の部分を押して“カチツ”と音がするまでしっかりと閉じてください。



- 10** ①「FEED」キーを押して、用紙の頭出しを行います。  
②最後に「ON LINE」キーを押して、オンライン状態にしてください。



 注意	印字終了後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。
	サーマルヘッドの端に素手で触るとケガをする恐れがあります。
	用紙交換は、ケガをしないように注意して行ってください。
	トップカバーを閉めるときは、指を挟まないように注意して行ってください。

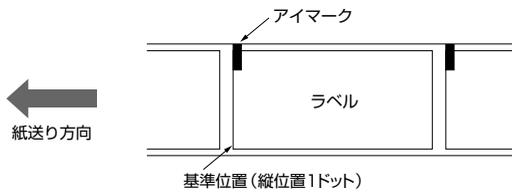
## 印字位置の調整

### ▲印字の基準位置

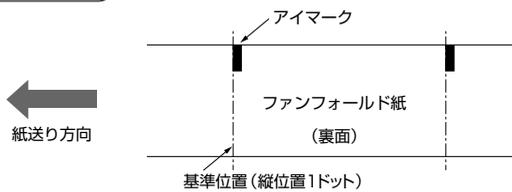
ラベル使用時の印字の基準位置は、ラベルの先頭が基準位置となります。

ファンフォールド紙使用時の印字基準位置は、ファンフォールド紙の裏面にあるアイマークの先頭の位置が基準位置となります。

#### ラベル

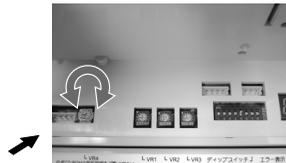


#### ファンフォールド紙



印字の基準位置が正規の位置にない場合、トップカバーを開け、プリンタ本体に添付してあるボリューム調整用ドライバーをのプラス側を使用して「印字位置調整」ボリュームの調整を行います。

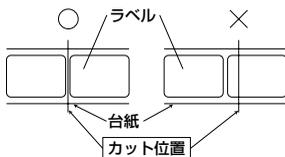
左回し：印字方向に対し印字位置を前に移動する  
右回し：印字方向に対し印字位置を後ろに移動する



## カット位置の調整

### ▲ラベルのカット

ラベル使用時のカット位置は、ラベルとラベルの間、カストリ(台紙のみの部分)が正規のカット位置となります。



### ▲カット位置の調整

カット位置が正規の位置にない場合、トップカバーを開け、プリンタ本体に添付してあるポリウム調整用ドライバのプラス側を使用して「オフセット調整」ポリウムの調整を行います。

ラベルのカットは、のりがカッタ刃に付いて切れを悪くします。ご注意ください。

左回し：印字方向に対し後ろにラベル停止する  
右回し：印字方向に対し前にラベル停止する



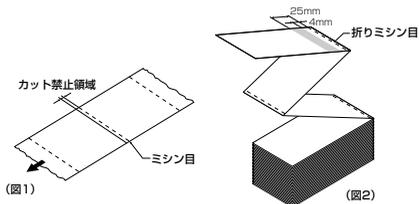
### ▲ミシン目のある用紙のカット

ミシン目のある用紙では、ミシン目およびミシン目の手前はカット禁止領域です。動作不良の原因になります。

ミシン目およびミシン目の手前をカットしている場合、ミシン目の後ろでカットするようにポリウム調整用ドライバのプラス側を使用して「オフセット調整」ポリウムの調整を行います。

以下の項目は本機で使用できる用紙の仕様となりますので、使用する前にご確認ください。

- ①用紙厚さ(台紙含)は0.08mm~0.19mmです。  
詳しくは、販売店または販売ディーラーにお問い合わせください。
- ②カット精度は、±1.5mmです。
- ③カッタユニットは、カットピッチが20~400mmまで有効です。  
但し、使用条件によってはカットサイズを規制する場合があります。
- ④ミシン目の+1mmは、カット禁止領域(図1)です。
- ⑤ファンフォールド紙の折りミシン目から+4mm~+25mmはカット禁止領域(図2)です。
- ⑥ポリウム調整後、2~5枚程度ラベルを発行することで、カット位置が安定します。



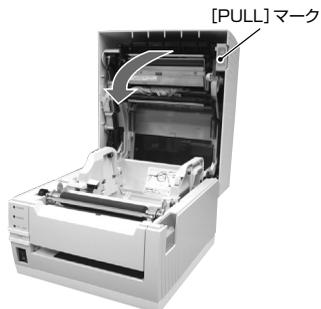
## カーボンリボンのセット

### 【カーボンリボンのセット】

- 1** ①本体右側のオープンレバーを下に押し、ロックを解除し、  
②トップカバーを開けます。



- 2** リボンユニットの [PULL] マークを引き、リボンユニットを手前に出します。



カーボンリボンの幅が、92mm以上と76mm以下により、カーボンリボンのセットの方法3～6が異なります。

92mm以上の幅のカーボンリボンの場合、カーボンリボンを直接、リボンユニットにセットします。

76mm以下の幅のカーボンリボンの場合、リボンアダプタを使用して、リボンユニットにセットします。

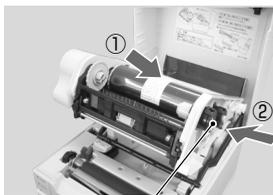


リボンアダプタ

## カーボンリボンのセット

### 【92mm以上の幅のカーボンリボンのセット】

- 3** ①カーボンリボンをリボン供給部の右側からセット後、②コアガイドを押します。



リボン供給部のコアガイド

- 4** ①リボンコアをリボン巻取り部の右側からセット後、②コアガイドを押します。



リボン巻取り部のコアガイド

- 5** カーボンリボンをリボン供給部よりサーマルヘッドの下を通して、リボン巻取り部へ通します。リボンコアにカーボンリボンをテープなどで貼り付けて、数回矢印の方向へ巻取ります。



ラベル押さえ

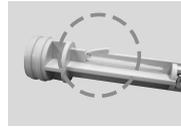
カーボンリボンは、必ずサーマルヘッドとラベル押さえの間を通してください。ラベル押さえの下には通さないでください。

## 【76mm以下の幅のカーボンリボンのセット】

- 3** カーボンリボンの幅が76mmまたは59mmの場合、リボンアダプタの爪を下にセットします。そのままの状態から爪を矢印の方向に回して、下にセットします。カーボンリボンの幅が45mmの場合、そのままの状態にします。



76mmまたは59mmの場合



45mmの場合

- 4** リボンアダプタにカーボンリボンをセットします。

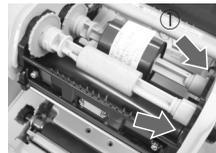


76mmまたは59mmの場合

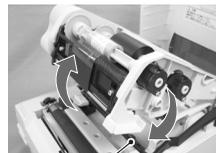


45mmの場合

- 5** ①カーボンリボンをセットしたリボンアダプタをリボン供給部の右側からセットします。②リボンコアをセットしたリボンアダプタをリボン巻取り部の右側からセットします。



- 6** カーボンリボンをリボン供給部よりサーマルヘッドの下を通して、リボン巻取り部へ通します。リボンコアにカーボンリボンをテープなどで貼り付けて、数回矢印の方向へ巻取ります。



ラベル押さえ

## カーボンリボンのセット

- 7** リボンユニットをトップカバーに入れ、元に戻します。



注意

リボンユニットを閉じてからトップカバーを閉じると、トップカバーが正常に閉じない場合があります。必ず、リボンユニットをトップカバーに入れてください。

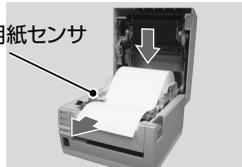


注意

カッタタイプの場合、リボンユニットをトップカバーに入れるときは、カッタ上刃に触れて手を切らぬように注意して行ってください。



用紙センサ



- 8** 用紙を用紙ホルダにセットします。用紙を引き出した後、用紙センサの間に用紙を通します。

- 9** トップカバーを閉じます。このとき、上面の矢印の部分を押し、“カチッ”と音がするまでしっかりと閉じてください。



- 10** ①「FEED」キーを押して、用紙の頭出しを行います。  
②最後に「ON LINE」キーを押して、オンライン状態にしてください。



注意

印字終了後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後のカーボンリボンの交換は、火傷しないように注意して行ってください。

サーマルヘッドの端に素手で触るとケガをする恐れがあります。

カーボンリボンの交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

トップカバーを閉めるときは、指を挟まないように注意して行ってください。

カッタタイプの場合、手を切らぬように注意して行ってください。

## パソコンとの接続

### 【標準インターフェース】

#### ●USB+LANタイプ



- ① USBインターフェースを使用する場合、フロントカバー内にあるDSW1-8をOFFに設定します。  
LANインターフェースを使用する場合、フロントカバー内にあるDSW1-8をONに設定します。
- ② USBインターフェースまたはLANインターフェースのip互換モードを設定するためには、プリンタ底面の基板にあるDSW3-2で設定します。  
ディップスイッチ設定の詳細については、【ディップスイッチの設定】を参照してください。  
→31～33ページ

#### ●USB+RS-232Cタイプ



- ① USBインターフェースを使用する場合、フロントカバー内にあるDSW1-8をOFFに設定します。  
RS-232Cインターフェースを使用する場合、フロントカバー内にあるDSW1-8をONに設定します。
- ② RS-232Cインターフェースの通信条件を設定するためには、プリンタ底面の基板にあるDSW2で設定します。
- ③ USBインターフェースのip互換モードを設定するためには、プリンタ底面の基板にあるDSW3-2で設定します。  
ディップスイッチ設定の詳細については、【ディップスイッチの設定】を参照してください。  
→31～33ページ

## パソコンとの接続

### 【拡張インタフェース(オプション)】

#### ●IEEE1284インタフェース



IEEE1284インタフェース

- ①IEEE1284インタフェースを使用する場合、プリンタ底面の基板にあるDSW3-1をONに設定します。
- ②IEEE1284インタフェースのip互換モードを設定するためには、プリンタ底面の基板にあるDSW3-2で設定します。

ディップスイッチの設定の詳細については、【ディップスイッチの設定】を参照してください。

→31～33ページ

#### ●無線LAN2インタフェース



無線LAN2インタフェース



ON ↑

①②③④

無線LAN2インタフェースボード ディップスイッチ表		
No	ONにしてプリンタの電源を入れたときの動作(①～③)	
①	未使用	
②	無線LAN2インタフェースボード設定情報初期化	
③	無線LAN2インタフェースボード設定情報印字/自己診断印字 (IPアドレス等の設定情報の印字と無線LAN2インタフェースボードの診断結果を印字します)	
④	通信モード (無線LAN動作の場合)	OFF : Ad hoc ON : Infrastructure

LANケーブルを接続して電源を投入すると、LANインタフェースで起動します。  
LANケーブルを接続せずに電源を投入すると、無線LANインタフェースで起動します。

- ① 無線LAN2インタフェースを使用する場合、プリンタ底面の基板にあるDSW3-1をONに設定します。
- ② 無線LAN2インタフェースのip互換モードを設定するためには、プリンタ底面の基板にあるDSW3-2で設定します。

ディップスイッチの設定の詳細については、【ディップスイッチの設定】を参照してください。

→31～33ページ

各インタフェースの詳細については、添付しているセットアップガイドもしくは、SBPLを参照してください。

## 電源を入れてみましょう

### 【電源のセット (ACアダプタ)】

ACアダプタ／電源コードを本機にセットして電源を入れます。

- 1 設置が終わったら、つぎのように電源をセットします。
- 2 電源コードをACアダプタにセットします。
- 3 本体→ACアダプタ→電源コードとつないでください。電源コードを本体の電源コネクタに差し込むときは、電源コードの上下を確認してください。本体に差し込むときは、本体を片手で押さえて差し込んでください。



- 4 添付のACアダプタを本体側、電源コードをコンセント側にセットします。  
添付の電源コードのプラグの形は、3極タイプになっています。3極タイプのコンセントは3本の足のうち1本がアース用です。電源コンセントが3極のときは、そのまま電源コードを差し込んでください。  
電源コンセントが2極タイプのときは、電源コードに添付の2極アダプタをセットして電源コンセントに差し込んでください。



注意

必ずアース線をアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。



注意

本プリンタに付属の電源コードセットは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

## 【電源を入れてみましょう (ACアダプタ)】

本体正面の電源スイッチを入れます。「I」&#247;書いてある側を押してください。

電源スイッチを入るとPOWERランプが点灯します。(ONLINEランプも点灯します。)ご確認ください。



### ⚠ 注意

濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。

## 【電源のセット (バッテリー (オプション))】

**1** 設置が終わったらつぎのようにバッテリーをセットします。

**2** バッテリー電圧安定器のコネクタ① (バッテリー用) をバッテリーに接続します。コネクタ① (バッテリー用) の向きに注意して差し込んでください。

**3** バッテリー電圧安定器のコネクタ② (プリンタ用) をプリンタ本体にセットします。コネクタ② (プリンタ用) の上下を確認して差し込んでください。プリンタ本体に差し込むときは、プリンタ本体を片手で押さえて差し込んでください。



バッテリーパックを電源に使用する場合、バッテリー動作モード指定コマンド〈TB〉で、必ずバッテリー動作に設定してください。コマンドの詳細については、添付しているアクセサリCD-ROMのSBPLを参照してください。

## 電源を入れてみましょう

### 【電源を入れてみましょう〔バッテリー(オプション)〕】

- 1 バッテリー電圧安定器の電源スイッチを入れます。「|」と書いてある側を押してください。電源スイッチを入れるとランプが点灯します。



- 2 プリンタ本体正面の電源スイッチを入れます。「|」と書いてある側を押してください。電源スイッチを入れるとランプが点灯します。(ONLINEランプも点灯します。)ご確認ください。



#### 注意

濡れた手でバッテリー電圧安定器の電源スイッチ、プリンタ本体の電源スイッチの操作をしないでください。感電する恐れがあります。

### 【あれ?おかしいな】

今までおこなった準備が正しくできていないときは、ONLINEランプまたはPOWERランプが点灯しません。準備が正しくできていないときは、ERRORランプが点灯したり点滅します。ERRORランプが点灯したり点滅したときは、準備をし直してください。

### 【電源を切りましょう】

本機が正常に動いたことを確認したら、電源を切ってみましょう。  
いきなり電源を切らないで、電源を切ってもよいかつぎのことを確認しましょう。

#### ▲電源を切る前に確認してください

[ONLINE] キーを押して、ONLINEランプが消えたことを確認してください。  
ONLINEランプが消えた後に電源を切ってください。  
「○」と書いてある側を押してください。

## 【バッテリー(オプション)の充電】

バッテリーチャージャ(オプション)にバッテリーを取り付けて充電します。

**1** 電源コードをバッテリーチャージャにセットします。



**2** バッテリーチャージャのコネクタをバッテリーに接続します。コネクタの向きに注意して差し込んでください。



**3** 電源スイッチを入れます。「I」を書いてある側を押してください。バッテリーチャージャのランプが赤点灯します。

充電が始まると、バッテリーチャージャのランプが橙点灯します。充電が終了すると、バッテリーチャージャのランプが緑点灯します。



**4** 充電が終了したら、バッテリーチャージャのコネクタを取り外します。



電源ON：赤点灯

充電中：橙点灯

充電終了：緑点灯

### 充電時間について

充電残量が空の状態からバッテリーチャージャのランプが緑点灯になるまでに約5時間かかります。

## 電源を入れてみましょう

- バッテリーチャージャのランプが赤点灯していないときはバッテリーチャージャの電源コードがしっかり取り付けられているか確認してください。しっかり取り付けられていないと、充電されないことがあります。
- すでに充電を完了しているバッテリーを取り付けたときは、バッテリーチャージャのランプが1度橙点灯してから緑点灯します。
- バッテリーチャージャのランプが橙点滅になると、バッテリー異常の恐れがあります。販売店または販売ディーラーにお問い合わせください。



### 注意

本プリンタに付属のバッテリーチャージャセットは、本プリンタ専用です。  
他の電気製品には使用できません。

## 印字動作の確認とエラー番号表示

### 【プリンタ状態印字】

プリンタの状態の印字を行います。  
現在設定されている内容が印字されますので  
設定印字を確認しましょう。

- 1 [FEED] キーを押しながら  
電源を入れます。

- 2 ブザーが鳴りますので、次の [ON LINE] キー  
キーを押してください。

■ [ON LINE] キーを押すと  
大きいサイズで印字されます。

■ [FEED] キーを押すと小  
さいサイズで印字されます。

印字中に [FEED] キーを押すと  
印字停止／再開します。



- 3 プリンタの設定内容が印字されます。  
印字された内容がDSWの設定値か  
どうか、確認しましょう。



## 印字動作の確認とエラー番号表示

### 【ディップスイッチの設定】

ご使用のプリンタの環境に合わせて適切な内容が設定されておりますが、万が一設定が違っていたときは、ディップスイッチを設定し直してください。

※ディップスイッチの詳細設定はプリンタ本体に貼り付けている説明シールを参照してください。

#### ●ディップスイッチ設定表DSW1（フロントカバー内）



①②③④⑤⑥⑦⑧

#### USB+LANタイプ

モード切替	DSW1-1	DSW1-2	DSW1-3	印字方法	DSW1-4	ダンプモード	DSW1-7
連続	OFF	OFF	OFF	ダイレクトサーマル	OFF	無効	OFF
ティアオフ	ON	OFF	OFF	熱転写	ON	有効	ON
カット	OFF	ON	OFF	ヘッドチェック	DSW1-5	インタフェース切替	DSW1-8
ハクリ	ON	ON	OFF	無効	OFF	USB	OFF
ノンセバ	OFF	OFF	ON	有効	ON	LAN	ON
パーソナルカット	ON	ON	ON	VR1調整選択	DSW1-6		
フォントダウンロード	OFF	ON	ON	オフセット調整	OFF		
				印字濃度調整	ON		

#### USB+RS-232Cタイプ

モード切替	DSW1-1	DSW1-2	DSW1-3	印字方法	DSW1-4	ダンプモード	DSW1-7
連続	OFF	OFF	OFF	ダイレクトサーマル	OFF	無効	OFF
ティアオフ	ON	OFF	OFF	熱転写	ON	有効	ON
カット	OFF	ON	OFF	ヘッドチェック	DSW1-5	インタフェース切替	DSW1-8
ハクリ	ON	ON	OFF	無効	OFF	USB	OFF
ノンセバ	OFF	OFF	ON	有効	ON	RS-232C	ON
パーソナルカット	ON	ON	ON	VR1調整選択	DSW1-6		
フォントダウンロード	OFF	ON	ON	オフセット調整	OFF		
				印字濃度調整	ON		

※ヘッドチェックはヘッド断線の目安で、バーコード読み取りを保証する機能ではありません。  
定期的な読み取りチェックをお願いします。

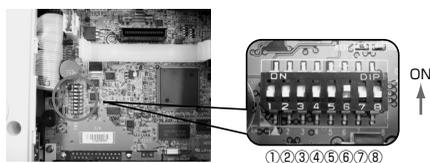
※詳細については、プリンタに添付しているセットアップガイドを参照してください。

●ディップスイッチ設定表DSW2 (RS-232Cインターフェイス設定)  
USB+RS-232Cタイプのみになります。

RS-232Cインターフェイスの設定を行うディップスイッチDSW2の設定を変更をするには、

- ①プリンタ本体の電源を切り、電源コネクタを取り外します。
- ②接続しているインターフェースケーブルを取り外します。
- ③プリンタにセットしている用紙を外します。
- ④プリンタ底面のふたを取り外します。

基板にあるディップスイッチDSW2のON/OFFを設定して、RS-232Cインターフェイスの設定を切り替えます。



No	機能	説明		
①	データビット長	OFF : 8ビット ON : 7ビット		
②	パリティビット	DSW2-2	DSW2-3	パリティビット
③		OFF	OFF	無し
		OFF	ON	偶数
		ON	OFF	奇数
		ON	ON	未使用
④	ストップビット	OFF : 1ビット ON : 2ビット		
⑤	ボーレート	DSW2-5	DSW2-6	ボーレート
⑥		OFF	OFF	9600bps
		OFF	ON	19200bps
		ON	OFF	38400bps
		ON	ON	57600bps
⑦	通信プロトコル	DSW2-7	DSW2-8	プロトコル
⑧		OFF	OFF	READY/BUSY
		OFF	ON	XON/XOFF
		ON	OFF	ステータス3返送
		ON	ON	ドライバ専用プロトコル

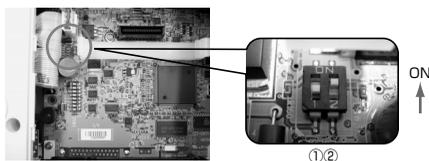
## 印字動作の確認とエラー番号表示

### ●ディップスイッチ設定表DSW3 (標準/拡張インタフェース設定)

標準/拡張インタフェースの切替えを行うディップスイッチDSW3の設定を変更するには、

- ① プリンタ本体の電源を切り、電源コネクタを取り外します。
- ② 接続しているインタフェースケーブルを取り外します。
- ③ プリンタにセットしている用紙を外します。
- ④ プリンタ底面のふたを取り外します。

基板にあるディップスイッチDSW3のON/OFFを設定して、標準/拡張インタフェースの設定を切り替えます。



#### USB+LANタイプ

No	機能	説明	
①	未使用	通常 OFF	
②	ip互換モード設定	DSW3-2	ip互換モード
		OFF	互換モード
		ON	標準モード

#### USB+RS-232Cタイプ

No	機能	説明	
①	標準/拡張 インタフェース切替え	OFF : 標準インタフェース DSW1-8がOFFの場合、USBインタフェース DSW1-8がONの場合、RS-232Cインタフェース	
		ON : 拡張インタフェース (オプション)	
②	ip互換モード設定	DSW3-2	ip互換モード
		OFF	互換モード
		ON	標準モード

## 印字動作の確認とエラー番号表示

### ●エラー表示

エラー番号	原因	解除方法
0	FLASH ROM読み込み・書き込みオーバーまたは書き込み回数オーバーです。	販売店または販売ディーラーにお問い合わせください。
2	基板不良	販売店または販売ディーラーにお問い合わせください。
3	EEPROMエラー	販売店または販売ディーラーにお問い合わせください。
4	サーマルヘッドが断線しています。	販売店または販売ディーラーにお問い合わせください。
5	サーマルヘッドまたはトップカバーがロックされていません。	トップカバーの上面の両側を押して“カチツ”と音がするまで閉じてください。
6	用紙がなくなりました。	新しい用紙をセットしてください。
7	センサ種類が合っていません。またはセンサレベルが合っていません。	販売店または販売ディーラーにお問い合わせください。
8	カッタが接続されていません。またはカッタが正常に行われませんでした。 ※1	販売店または販売ディーラーにお問い合わせください。 ※1カッタ、ノンセバ、パーシャルカッタタイプの場合
9	リボンがなくなりました。またはリボンが切れています。※2	リボンを正しくセットしてください。 ※2熱転写タイプのip-205/225の場合
A	パソコンから送られてくるデータ量が多すぎます。	電源を入れ直してください。パソコンのソフトウェアデータ量が通信条件に合うように調整してください。
b	パソコンとの通信条件設定に不都合があります。	それでもエラーが解除されないときは通信条件の確認を行ってください。
H	漢字ROMからの読み込みが正常に行われませんでした。	販売店または販売ディーラーにお問い合わせください。
L※	バッテリーがなくなりました。	バッテリーを充電してください。
r	RFIDタグからの読み込み・書き込みが正常に行われませんでした。	新しいRFIDタグをセットしてください。

※バッテリーの容量が少なくなると、「L」を点滅表示します。

## プリンタのお手入れについて

本機は大切な情報を含んだバーコードや文字を印字するプリンタです。各部が汚れていると大切なバーコードや文字もきれいに印字できなくなるだけでなく、故障の原因にもなります。定期的に清掃してください。

### ▲お手入れの時期

お手入れの時期の目安は、次の通りです。

#### クリーニングセットでのお手入れ

- サーマルヘッド、プラテンローラ、用紙センサ ) …用紙1巻おき、あるいは用紙50メートル印字ごと

#### クリーニングシートでのお手入れ

- 用紙6巻おき、あるいは300メートル印字ごと
- 上のクリーニング時期は目安ですので、汚れの程度によって都合のよい時期にクリーニングしてください。

### ▲お手入れのときの注意



お手入れのとき、次のことに注意してください。

- 上の清掃時期は目安ですので、汚れの程度によって都合の良い時期に清掃してください。
- 各部の清掃には、クリーニングペンや綿布をご使用ください。
- ドライバなどの堅いものを使用して清掃すると、各部を傷つける恐れがあります。特にサーマルヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。
- 電源は必ず切ってからおこなってください。

### ▲お手入れのしかた (付属品のプリンタクリーニングセットを使用)

1

トップカバーを開け、ヘッド部を開けてください。

#### ●サーマルヘッドのクリーニング



2

クリーニング液を綿棒やクリーニング棒に浸して、サーマルヘッドとプラテンローラの汚れを取り除きます。

※ ノンセパカッタをお使いの方は、綿布でローラ周りの汚れもふき取ってください。

#### ●プラテンローラのクリーニング



▲お手入れのしかた (付属品のラッピングシートを使用)

**1** ラッピングシートをサーマルヘッドとプラテンローラの間へ挟み、ヘッド部をロックします。

**2** 両手でラッピングシートを手前に引きます。これを2~3回繰り返してください。これでサーマルヘッドの付着カスは除去されます。まだカスが残っている時は、さらに数回繰り返してください。

※ラッピングシートは、ザラザラしている面が上になる様にはさってください。

●ラッピングシートを使用



**3** 清掃液をクリーニングベンに浸して、サーマルヘッドの汚れを拭き取ってください。



クリーニングを行うときは、必ず電源を切ってから行ってください。  
サーマルヘッドの清掃には、必ず添付クリーニングセットのヘッド清掃液を使用して行ってください。

## 基本仕様

ipシリーズ	
モデル名	ip-65/ip-205      ip-225
印字方式	熱転写または感熱方式
ヘッド密度	8ドット/mm (203dpi)      12ドット/mm (305dpi)
印字有効範囲	幅104mm×ピッチ400mm 上下、両端より1.5mm印字不可    アイマーク領域は印字不可
印字速度	最大6インチ/s (約150mm/s)      最大4インチ/s (約100mm/s) 注) 但し、印字レイアウト、用紙、カーボンリボンの種類によっては規制する場合があります。
用紙	当社製指定用紙を必ずお使いください。
紙厚	0.08~0.19mm
形状の種類	ロール紙・ファンフォールド紙
ラベルサイズ (台紙及び厚紙サイズ)	標準      幅      : 25~115mm (28~118mm) ピッチ : 15~397mm (18~400mm) ティアオフ      幅      : 25~115mm (28~118mm) ピッチ : 27~397mm (30~400mm) ハクリ      幅      : 25~115mm (28~118mm) ピッチ : 20~120mm (23~123mm) カッタ      幅      : 25~115mm (28~118mm) ピッチ : 20~397mm (23~400mm) ノンセバ      幅      : 25~118mm ピッチ : 23~123mm バーシャルカット      幅      : 25~115mm (28~118mm) ピッチ : 20~397mm (23~400mm) 発行枚数や用紙のサイズ、種類により規制する場合があります。 但し、使用条件によってサイズを規制する場合があります。
収容枚数	
ロール紙	最大外径:115mm (約50m/巻)    40mm紙管使用 表巻き
ファンフォールド紙	最大折り畳み高さ:100mm (プリンタ外部からの供給となります。) 「ファンフォールド紙のセット」を参照してください。→11ページ
カーボンリボン	当社製指定カーボンリボンを必ずお使いください。
幅	45、59、76、92、111mm カーボンリボン幅は、ご使用になる用紙より広い幅をお使いください。
長さ	100m/巻
基材の厚さ	4.5μm
色	黒 (標準) 但し、カラーリボンの対応可能
巻き方向	表巻き
ラベル発行	連続、ティアオフ、ハクリ、カッタ、ノンセバ、バーシャルカット
寸法	W198×D247×H181mm (標準)

基本仕様

重量	3.2kg(標準) ACアダプタ、バッテリーは除く
電源	
ACアダプタ	
入力電圧	AC 100~240V(1.5A) 50-60Hz
出力電圧	DC 25V(2.0A)
消費電力	印字率30% 180VA 120W 最大 280VA 180W 待機時 30VA 15W
バッテリー	
定格電圧・容量	DC 24V 7.3Ah
環境条件	動作周囲温度 5~35℃ 湿度 30~80%(但し、結露無きこと) 保存周囲温度 -5~60℃ 湿度 30~90%(但し、結露無きこと) ノンゼバ仕様では、環境条件を規制する場合があります。 用紙、カーボンリボンを除く
外部インタフェース	
標準インタフェース	USB+LANタイプ ○USB (Full Speed) ○LAN (10BASE-T/100BASE-TX自動切替え) USB+RS-232Cタイプ ○USB (Full Speed) ○RS-232C
拡張インタフェース	USB+RS-232Cタイプ ○パラレル (IEEE1284) ○無線LAN2 (LAN:10BASE-T/100BASE-TX自動切替え、無線LAN:IEEE802.11b/g)
操作パネル	
キー	LINE、FEED
スイッチ	POWERスイッチ
LED	POWER、ONLINE、POWER、7SEG LED
調整用ボリューム	用紙センサ調整、印字位置調整、印字濃度調整、ティアオフ/ハクリ/カット停止位置調整 但し、印字濃度調整とティアオフ/ハクリ/カット停止位置調整はDSW1-6で切替え
センサ	用紙センサ反射型、透過型
印字フォーマット	ホスト(コンピュータ)より転送(フォーマット登録機能あり)

## 基本仕様

収容文字種 標準	X20 5×9ドット (英数・記号・カナ) X21 17×17ドット (英数・記号・カナ) X22 24×24ドット (英数・記号・カナ) X23 48×48ドット (英数・記号・カナ) X24 48×48ドット (英数・記号・カナ) アウトラインフォント (英数・記号・カナ)	
漢字フォント	OCR-A 15×22ドット (英数・記号)	OCR-A 22×33ドット (英数・記号)
	OCR-B 20×24ドット (英数・記号)	OCR-B 30×36ドット (英数・記号)
	漢字 16×16ドット JIS第1水準、第2水準	角ゴシック体
バーコード	漢字 22×22ドット JIS第1水準、第2水準	角ゴシック体
	漢字 24×24ドット JIS第1水準、第2水準	角ゴシック体
	UPC-A/UPC-E, JAN/EAN, CODE39, CODE93, CODE128, GS1-128 (UCC/EAN-128), CODABAR (NW-7), ITF, インダストリアル2of5, マトリックス2of5, カスタマバーコード, UPCアドオンコード, GS1 DataBar (RSS)	
2次元コード	QRコード, マイクロQR, PDF417, マイクロPDF, MAXIコード, GS1 データマトリックス (ECC 200)	
合成シンボル 倍率	合成シンボル (JAN/EAN, UPC-A/UPC-E, GS1-128, GS1 DataBar (RSS)) 縦1～1.2倍, 横1～1.2倍 (文字) 1～1.2L (バーコード)	
回転 文字	0°, 90°, 180°, 270°	
バーコード	パラレル1, シリアル1, パラレル2, シリアル2	
バーコード比率	1:2, 1:3, 2:5, 任意指定	
自己診断機能	ヘッドチェック, ヘッドカバーオープン, ベーパーエンド, リボンエンド, バッテリーエラー, 漢字ROMチェック, テスト印字	
ノイズ規格 放射ノイズ	VCCI クラスB	
オプション	ハクリユニット, カッタユニット, ノンセバユニット, RFIDユニット, バッテリー, インタ フェースボード (パラレル (IEEE 1284), 無線LAN2 (LAN:10BASE- T/100BASE-TX自動切替え, 無線LAN:IEEE802.11b/g)	

他社製品の登録および商標についてのお知らせ  
QRコードは (株)デンソーウェーブの登録商標です。